

別紙4 モニタリングレポートの様式例

令和元年度 指定管理者モニタリングレポート

1. 基本情報

施設名	美馬市木屋平高齢者生活福祉センター
施設所在地	美馬市木屋平字川井161番地
指定管理者名	社会福祉法人 美馬市社会福祉協議会
評価期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日まで
指定期間	平成31年4月1日～令和4年3月31日まで
所管課	保険福祉部 長寿・障がい福祉課

2. 評価結果

項目	評価内容（市コメント）
①業務の履行状況	業務概要は、本施設の管理運営業務である。 令和元年度の年間利用者数は、3,104人である。居住部門は、1,982人である。職員配置については、出勤簿、業務日誌により適正に配置されていることが確認できた。 利用料金については、月次報告書や事業報告書、領収書等により適正に徴収されている。 また、業務遂行に関係する職員研修にも積極的に取り組んでいる。
②サービスの質、独自採算事業	運営推進会議を年2回開催し、家族代表者、民生委員、行政担当者等の出席で、サービス提供内容の報告・評価、地域との意見交換や交流等によりサービス向上につなげている。 生活支援ハウスにおいても、入居者に対して、朝晩の見回り・声かけ等を行い、何らかの援助が必要な場合は、その都度職員が必要に応じて各種相談を受け、助言や対応、関係機関への連絡調整を行う。
③サービス提供の継続性・安定性	提出された事業計画書に基づき、効果的に実施できている。 各種職員研修を計画的に実施し、サービスレベルの向上に努め、サービスメニューとサービスの提供方法を随時チェックし改善を図っている。
総合評価	C 今年度は、運営費等のコスト削減が行われており、概ね協定書等の内容どおり適正な管理運営が行われていることが確認できた。また、土砂災害警戒区域等であるので、土砂災害に対応するためのマニュアルを作成するように指示し、令和元年8月に作成された。

3. その他（今後の課題や改善に向けた取組み）

本施設に老朽化が現れてきており、指定管理者と連携を密にして計画的な修繕を行っていく必要がある。また、今後より一層のサービス利用者の新規開拓によって、さらなる施設利用促進に取り組む必要がある。そして、経営における赤字解消のための有効な改善策を引き続き検討する必要もある。
--